

おおい町の皆さまへ

総理や枝野経産大臣など4閣僚は、
大飯原発3・4号を運転再開させようとしています



◆「新たな安全基準」で本当に安全なのでしょうか？

◆活断層の3連動の評価は
一体、どうなっているのでしょうか？

◆崖っぷち（クリフエッジ）まで安全とは？



プルサーマルを心配するふつうの若狭の民の会
グリーン・アクション

京都市左京区田中関田町 22-75-103 TEL 075-701-7223 FAX 075-702-1952

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）

大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581

2012.4.8

◆総理大臣など4閣僚は、わずか3日で「新たな安全基準」を決めました。
はたして、これで安全が保証されたといえるでしょうか。
その内容は、これまでに関西電力が実施しているものを認めているだけです。

- ・これまでの緊急安全対策……電源車の配置等
- ・ストレステスト1次評価に合格すること
- ・防潮堤の設置や、大事故の時に放射能を放出する場合のフィルター設置等は、運転再開前に実施しなくてもよい。今後、いつ実施するかを計画を出すだけでいい

ストレステストについては、国の安全委員会が「安全性を判断したわけではない」と、はっきり語っています。

また、防潮堤の設置などが必要としながら、実際に完成するのは何年も先です。ただ「計画を出せばいい」というのは、安全よりも、とにかく運転再開を急いでいるとしか言えません。

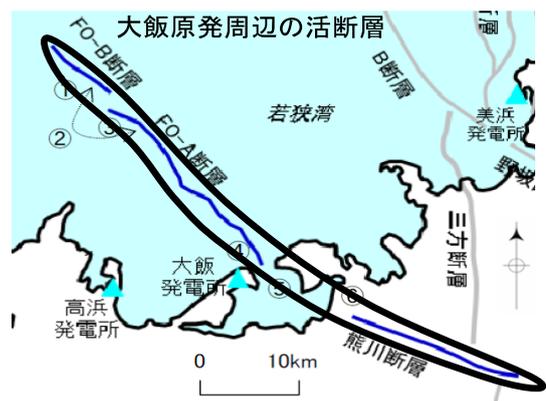
※そして最も重要な、3つの活断層が連動して動いたときに、大飯原発は安全なのか？このことについて「新たな安全基準」では全くふれられていません。

★保安院は「活断層の3連動で760ガルになる」と評価しました しかしこれは、国の指針に違反しています

大飯原発の近くには3つの活断層があります。原子力安全・保安院は、「Fo-A～Fo-B断層と熊川断層については、念のために連動を考慮した地震動評価結果（760ガル）が事業者より示されており、妥当と判断する」との見解を示しました（3月28日「地震・津波に関する意見聴取会」）。

ところが、国の「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」では、地震動について、2つの方法（応答スペクトルに基づく評価と断層モデルを用いた手法による地震動評価）で評価することを求めています。しかし「760ガル」は、1つ方法（断層モデル）だけの評価です。これは明かに指針に違反しています。

国の指針に違反してまで、地震動を過小に見積もるやり方は、福島原発事故前の保安院の体質が何も変わっていないことを示しています。まず、この違反については、改めて、指針通りの評価を出すよう求めましょう。



関電は、海底にある2本の活断層(Fo-B断層とFo-A断層)による約35kmの連動は評価しているが、内陸の熊川断層も含めた約63kmの連動の耐震安全性評価を行っていない
2012年3月6日、地震・津波に関する意見聴取会(活断層関係)(第1回)-配布資料の図に加筆

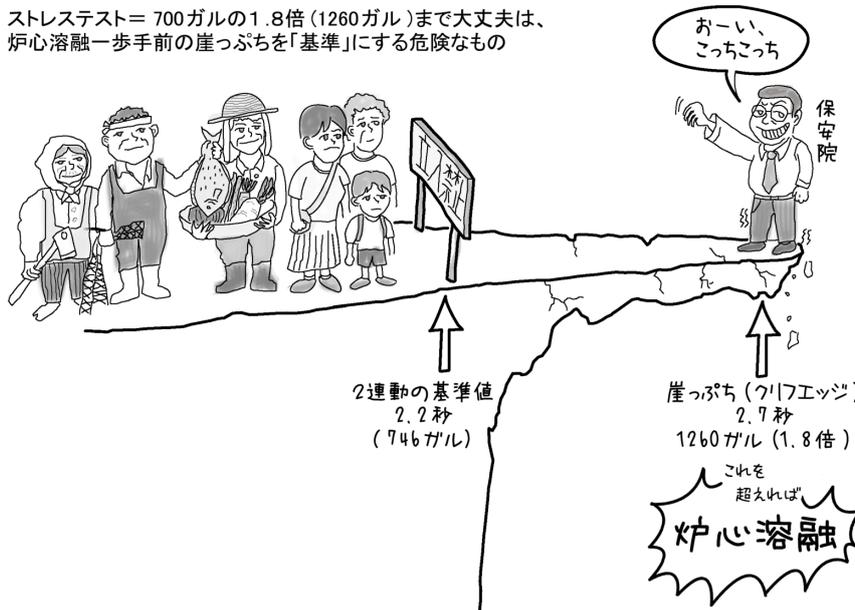
★炉心溶融ギリギリの「崖っぷち」を運転再開の「基準」にするとは！
 現在も有効な耐震安全性の基準を適用すれば、大飯3・4号の再稼働はできません

3つの活断層が連動して地震が起きたときに、原発を「止める」役割をもつ制御棒は、すぐに挿入できるのでしょうか？

- ・ 現行の2つの活断層（海の活断層）が連動した場合の地震の揺れは700ガルです。
- ・ この場合の制御棒挿入時間の評価は2.16秒です。基準値は2.2秒で、余裕はたった2%しかありません。
- ・ 3つの活断層が連動して動くことを考慮すれば、地震の揺れは大きくなります。その分、制御棒が入る時間は遅れ、基準値（2.2秒）を超えてしまいます。
- ・ 基準値を超えれば、補強工事をしない限り、原発の運転はできません。これが今でも有効な約束ごとです。保安院もこのことを認めています。

しかし、3つの活断層の連動を考慮すれば、基準値「2.2秒」を超えてしまいます。そのため、「3連動しても700ガルの1.8倍（1260ガル）＝「崖っぷち」以内だから問題なし」としてしまっています。

ストレステスト＝700ガルの1.8倍（1260ガル）まで大丈夫は、炉心溶融一歩手前の崖っぷちを「基準」にする危険なもの



- ・ ストレステストの崖っぷち（クリフエッジ）は、炉心溶融一歩手前の「基準」です。崖っぷちギリギリにまで人々を招いて、それでも「安全」だとしてしまっているのです。
- ・ 制御棒の挿入時間の基準値はいまも2.2秒です。そのような崩壊ギリギリの値と、耐震安全性の基準は全く別のものです。論理をすり替えてしまっています。

地震の揺れ	2連動 700ガル	746ガル	3連動 760ガル (関電・保安院の評価)	1260ガル 崖っぷち ストレステスト
制御棒の挿入時間	2.16秒	<u>2.2秒</u> <u>基準値</u>	2.21秒 (市民団体の評価)	2.7秒

個別訪問で聞いた町の人たちの声

3月30日と31日に、個別訪問、チラシ配布を行いました。そこで聞いた町の人たちの声です。

福島の事故はまだ原因も分かっていないから

原発事故さえなければ、津波で流された人を探すこともできたらろうに

そんなビラいら
ない、いら
ない

雇用のことも心配だが、やっぱり安全が第一

よくわからないから..

福島の人から直接事故の話、避難できない話を聞いている。事故を繰り返してはいけない。運転再開などやめてほしい。

皆本音では原発が危険だと思っているだろうが、不況でもあり、原発関連で働いている人が多いから..

老朽化の問題もある

福島原発事故では誰も責任を取ってない

防潮堤もまだなのよね

わしらはいいが、若い人や子どもは大変や

多くの方が、運転再開を心配しています。あなただけではありません。話し合ってみてください。不安や疑問を役場に伝えてください。

おおい町役場 企画課：

電話：(0770) 77-1111

FAX：77-1289

4月4日の夜、おおい町大島で地震学者の石橋克彦さんの講演会がありました。町外の人もおられました。多くの町民の方が聞きに来てくれました。参加者は70名にも。

参加者からは大飯原発の海底の2つの活断層と陸側の熊川断層の3連動に関して、「3連動したらどれ位の揺れになるか」とか、「関西電力は3連動しても地震動は760ガルといっているが本当なのか」との質問が出されました。

石橋さんは「揺れは震度7にはなると思う。(地震動については) 関電は従来の評価方法(応答スペクトルによる方法)から、今回は数値が小さく出る断層モデルによる方法に変えている。従来の方法をとれば、地震動は大きくなる」と関電のやり方を批判しました。また、「関電は断層面を鉛直で評価しているが、実際には斜めになっていて、大飯原発は斜めになった上側にあるのでよく揺れる」と関電の評価が甘いことを指摘されました。

講演会のDVDあります。希望される方は石地までご連絡ください。